

平成27年度第13回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	平成27年11月11日（水）	午前9時
場	所	八王子市役所 議会棟4階	第3・第4委員会室

第 1 3 回定例会議事日程

1 日 時 平成 2 7 年 1 1 月 1 1 日 (水) 午前 9 時

2 場 所 八王子市役所 議会棟 4 階 第 3 ・ 第 4 委員会室

3 会議に付すべき事件

第 1 第 3 0 号議案 八王子市立学校教職員の処置の内申について (継続)

第 2 第 3 6 号議案 議決事項の一部取り消し (平成 2 7 年 1 0 月 2 8 日
議決第 3 1 号議案) について

第 3 第 3 7 号議案 平成 2 7 年度八王子市教育委員会表彰について

4 協議事項

第三次特別支援教育推進計画素案について

5 報告事項

・平成 2 7 年秋の叙勲の受章について (教職員課)

・八王子「宇宙の学校」の実施結果について (こども科学館)

その他報告

出席者

教 育 長	坂 倉 仁
教育長職務代理者	和 田 孝
委 員	星 山 麻 木
委 員	輿 水 かおり
委 員	村 松 直 和

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	廣 瀬 勉
学校教育部指導担当部長	山 下 久 也
教 育 総 務 課 長	小 林 順 一
学 校 教 育 政 策 課 長	小 俣 勇 人
施 設 管 理 課 長	岡 功 英
保 健 給 食 課 長	野 田 明 美
教 育 支 援 課 長	穴 井 由美子
指 導 課 長	中 村 東洋治
教 職 員 課 長	廣 瀬 和 宏
統 括 指 導 主 事	佐 藤 晴 美
統 括 指 導 主 事	斉 藤 郁 央
生涯学習スポーツ部長	小 柳 悟
生涯学習政策課長	井 上 茂
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	坂 口 崇 文
学 習 支 援 課 長	新 井 雅 人
文 化 財 課 長	中 正 由 紀
こ ども 科 学 館 長	牛 山 清 志
図 書 館 部 長	小 坂 光 男
中 央 図 書 館 長	中 村 照 雄
生涯学習センター図書館長	新 堀 信 晃
南 大 沢 図 書 館 長	村 田 浩 三
川 口 図 書 館 長	福 島 義 文

指導課指導主事
保健給食課主査
教育総務課主査
教育総務課主任
教育総務課嘱託員

野村洋介
安藤純
堀川悟
村石英里
村尾ひとみ

【午前9時00分開会】

○坂倉教育長 大変お待たせいたしました。本日の出席は5名全員でありますので、本日の委員会は有効に成立いたしました。

これより平成27年度第13回定例会を開会いたします。

いつも申し上げておりますが、本市では地球温暖化対策、省資源対策の一環として、節電等に取り組んでおります。本定例会においても、照明の一部消灯を実施しておりますので、御理解いただきますようお願いいたします。

日程に入ります前に、本日の議事録署名員の指名をいたします。本日の議事録署名員は、輿水かおり委員を指名いたします。よろしくようお願いいたします。

なお、議事日程中、第30号議案及び第36号議案は個人情報を含むため、また第37号議案及び協議事項「第三次特別支援教育推進計画素案について」は、いまだ意思形成過程のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項及び第8項の規定により非公開といたしたいと思っておりますが、御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○坂倉教育長 御異議ないものと認めます。



○坂倉教育長 それでは、それ以外の日程について進行いたします。報告事項です。教職員課から報告願います。

○廣瀬教職員課長 おはようございます。

それでは、報告事項、平成27年秋の叙勲の受章につきまして報告いたします。

発令日は、11月3日。

受章者でございますが、源原重行、75歳。校長歴が横山中学校長、元八王子中学校長、由井中学校長、計10年間、八王子において校長先生を務めていただきました。受章内容は、瑞宝双光章。

もうひとかた、小池宏、満82歳。校長歴、城山小学校長、第十小学校長、計8年、八王子において校長先生を務めていただきました。受章内容は瑞宝双光章でございます。

以上、2名の方が叙勲を受章いたしましたので、報告いたします。

以上です。

○坂倉教育長　　ただいま、平成27年秋の叙勲の受章についての報告は終わりました。

本件について御質疑はございませんでしょうか。

毎回順位をつけて、大体何人ぐらい推薦してどのぐらい受章しているかというのと、多分、推薦のときに、源原さんが今回一番上だったと思うのだけれども、その辺の傾向というあたりを、少しお話ししてくれますか。

○廣瀬教職員課長　　今回の叙勲に関しては、平成26年5月に議案を出させていただきましたが、そのときは5名の方を推薦しております。その中で、源原先生につきましては、平成23年ぐらいから八王子市教育委員会のほうで推薦させていただいております。

毎回、大体5名から6名の方を推薦しております、その年によってですが、1名だったり2名だったりの方が受章するという形がほとんどでございます。

○坂倉教育長　　順位的には今年はどうだったのですか。

○廣瀬教職員課長　　順位的には、源原先生は今回一番上で推薦させていただきましたが、小池先生は5番目で推薦させていただいています。ほかの方は、今回順位がちょっとわからないというところでございます。

○坂倉教育長　　国が見る先生の功績と、市側が見るのとではなかなか違ったりするのですが、いずれにしても、表彰される方は少しでも多いほうが、在籍時の功労に対する謝意にもなりますし、また、現在の校長先生方のやりがいにもなりますので、ぜひ、また適した方を推薦していただきたいと思っております。特に、源原先生は退職校長会の八王子支部の中でも、非常にいろいろなところで御活躍されており、また、地域運営学校の学校運営協議委員などもしていただいたりしていらっしゃるので、大変めでたいことだと思っております。

ほかに御意見はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ただいま平成27年秋の叙勲の受章についての報告は終わりました。

続いて、こども科学館から報告願います。

○牛山こども科学館長　　それでは、八王子「宇宙の学校」の実施結果について、御報告させていただきます。その関連で、八王子「宇宙の学校」の実施結果の後に、先日開催いたしました「輝く宇宙八王子展」の結果についても報告させていただきたいと思っております。

まず、八王子「宇宙の学校」の実施結果について御報告いたします。

資料1番の目的ですが、八王子「宇宙の学校」は、親子で行う科学工作教室や家庭学習を通じて、理科好きの子どもたちを増やすことを目的として実施しております。

2番の主催等ですが、八王子市教育委員会と八王子クラブ等が協力して実行委員会をつくっており、八王子「宇宙の学校」実行委員会形式で主催をしております。共催は、NPO法人のKU-MA「子ども・宇宙・未来の会」、JAXA宇宙教育センターの共催となっております。

3番の経過につきましては、平成23年度から、当初1会場80組で開始いたしましたが、今年で5年目となり、現在3会場定員203組で実施しております。

4番の内容ですが、大学生ボランティア等のサポートを受けながら、ホバークラフト等の科学工作を行う4回のスクーリングと、あと家庭学習のプログラムが入っておりますので、それを各家庭でやってもらうような内容となっております。対象は小学校1年生から3年生の親子。参加費2,000円となっております。

5番の開催結果ですが、今年は教育センター会場、東京工科大学会場、八王子北高校会場になっておりまして、教育センター会場75組、東京工科大学会場96組、八王子北高校会場32組となっております。

6番の成果ですが、参加者のアンケートでは、「学校や自宅学習ではなかなかできない実験や工作に取り組めた」、また「親子で一緒に学べてとても楽しい思い出になった」などの声があり、各会場の回答者から、参加してよかったとの感想をいただいております。

7番、その他ですが、実は、昨年かなり途中欠席者が多かったものですから、今年度は、募集時の広報などでいろいろ声かけなども行ったところ、昨年、最終日には5割から7割の参加率に減ってしまったのですが、今年度につきましては、最終日おおむね8割の参加率となりました。募集時の広報で、全回出場の方というような条件をつけたり、また、教育長に初めに御挨拶に来ていただいたときには、皆さん最後まで参加していただきたいというような声をかけていただいた関係で、参加率を上げることができました。

様子につきましては、裏面に写真を貼付させていただきました。一番上の写真は、教育センター会場でホバークラフトをつくる工作の風景となっております。会場に

ブルーシートを広げ、その中に座卓のような囲みをつくって工作を行ってもらえるような感じになっております。

下の写真につきましては、東京工科大学会場で、熱気球をつくって打ち上げようという工作の、打ち上げ風景になります。この熱気球の材料は、塗装用の養生シートを使っておりまして、これをドライヤーの熱風で打ち上げるような工作になっており、大変盛り上がりました。

八王子「宇宙の学校」については、以上のような報告になります。

続きまして、口頭で申し訳ないのですが、先日実施しました「輝く宇宙八王子展」について、御報告させていただきます。

「輝く宇宙八王子展」につきましては、八王子「宇宙の学校」開校5周年を記念し、10月18日から31日の間、八王子駅南口総合事務所多目的スペースを会場として、東京八王子プロバスクラブとの共催で開催いたしました。JAXAから、いずれも模型ですが、宇宙服やロケットなどの展示のほか、パネル展示で世界の宇宙開発の歴史やロケットの説明、また、はやぶさについての展示も行いました。

駅前という場所がよかったと思いますが、平日おおむね200人、土日は4、500人の方に来場していただき、14日間で3,944人の来場者となりました。そのうち、1,000人近くがお子さんたちの来場者となっております。会場では、最初に実物大の宇宙服が飛び込んでくるレイアウトが印象的でしたので、南口総合事務所に用事で来て、そのまま見ていかれる方もおりました。宇宙開発のパネルもわかりやすく、立ち止まって読んでいただくような場合も多かったと思います。

宇宙に親しみ、理解できる催しをすることができたと思います。

報告は以上になります。

○坂倉教育長　　ただいま、八王子「宇宙の学校」の実施結果について及び口頭にて「輝く宇宙展」の報告が終わりました。

本件について、御質疑ございませんでしょうか。

まず、去年も聞いたのだけど、常に満杯ではないわけですね。申し込んでおいて1回も来なかったという方は、今年はどうですか。

○牛山こども科学館長　　2組だけが1回も来られず、あとはほぼ1回の欠席というような感じになっております。

○坂倉教育長　　なかなかどこまで聞くかは難しいのですが、その2組に対して、もちろ

んアンケートという形はいいと思うのだけれども、何で来られなかったかとか、その辺のところは聞いてみたりしたのですか。

○牛山こども科学館長 欠席者については、問い合わせはしておりません。

○坂倉教育長 203組のうち2組、1%だから仕方ないかもしれませんが、先ほど御紹介があったように、高い倍率の中で選ばれているのだからという形で私も言うのですが、来る人に言っても仕方ないのだけれども、そこに言うしかないんですよ。授業参観とかでもそうだけれども。でも、何かそのところで、来なかった人に対して、罰とか何かではなくて、啓発していくためには利用費とか何とかその辺があってもいいのかなという気もします。なかなか難しいとは思いますが、「お申し込みいただいたけれども来られなかったですが、いかがですか」みたいなことを聞いてもらうとか、またそれをこの次に生かすとか、何かぜひしてほしいなという気がしました。

それと、資料のつくり方なのだけれども、主催等のところで、牛山館長、最初の説明のときに実行委員会の構成メンバーで「東京八王子プロバスクラブ」と言わなくて「八王子クラブ」と言いましたよね、2回目は東京八王子プロバスクラブと言ったけれども。株式会社スリーボンドさんもそうなのだけれども、せっかく多くの後援者があってやっていくのに、もちろん公式で出すときに宣伝的なことはできないけれども、例えば実行委員会の後ろに括弧で主な構成メンバーを書くなどしてあげないと、せっかくやってくれているのに引いてしまうと思うんです。もちろん当たり前なことだけれども、私が行って一生懸命お礼を言うのも、ぜひ協働の中でやってもらいたいと思うからだとすると、もう少しつくり方も考えてほしい。例えば「輝く宇宙八王子展」のほうも、市主体事業ではないにしても、1枚でもいいから資料をつけるとか、そういうふうにしてあげないと、せっかく今、八王子を盛り上げている市民の方々のお力を借りて、少しでも生かそうというのだから、少し工夫してほしいなという気がします。

○牛山こども科学館長 教育長のおっしゃるとおり、さまざまな団体と協働で、東京八王子プロバスクラブほか大学、高校、いろいろな団体の力を受けてできている事業ですので、そういうところは、今後資料のつくり方について、十分気をつけてつくりたいと思います。

○坂倉教育長 ちなみに聞くのですが、「輝く宇宙八王子展」や八王子「宇宙の学校」

に顔を出した指導主事さんはいらっしゃるのでしょうか。

○斉藤統括指導主事　今のところ、指導主事は出席しておりません。

○坂倉教育長　例えば工学院大学が、スーパーサイエンスティーチャー（SST）の関係で、あれは各学校が直でやっているのだけれども、理科教材ではなくSSTで使った授業本みたいなものを配るという形でやっていて、窓口は工学院大学になると思うのだけれども、科学教育センターはこちらがやっていますよね。これは、生涯学習スポーツ部がやって、実際は民間がやっているのだけれども、結局全部見ているのは私だけになってくる。これは小学校だけれども、今月の28日には中P連が主催する八王子市中学校科学コンクールの表彰式もあって、やはり八王子の小学生や中学生の子どもたちの、そういったものを誰かしらが行って見て、何とか生かそうということがないと。もちろん仕事は縦割りで仕方がないのかもしれないけれども、宇宙展なんかは市民の方々に行ってくださいと言っていて、それで子どもたちも見るとのだから、指導主事が行ってもおかしくはないと思うのだけれども。お忙しいとは思いますが、何のために一生懸命予算を取って、市担の指導主事にやってもらっているかと考えると、少し悲しいかなと思います。

○斉藤統括指導主事　今後、指導主事への周知も含め、徹底してまいりたいと思います。また、今度開催される中学校科学コンクールにつきましては、指導主事、統括指導主事も出席させていただきますので、よろしく願いいたします。

○坂倉教育長　ほかに御意見があれば。

○興水委員　元に戻りますが、この参加費というのは、どういうふうに使われているのか。御欠席になった2組というのは、参加費をお納めになった後、来られなかったのか。今お話にありましたように、ボランティアの方を含めてたくさんのサポートがあるということですが、そこら辺の運営費はどうなっているのか。教えていただければと思います。

○牛山こども科学館長　まず、参加費ですが、4回の初日に参加費はいただいておりますので、初回から欠席された方については請求しておりません。逆に、1回でも来られた方にはいただいております。

この参加費は、全体の運営費を寄附等で賄っておりますが、全体の運営費の中の一部に充当させていただいています。

○坂倉教育長　牛山館長、それでは説明できていないですよ。

これは全体的にはほとんど材料費にしかあたっていません。会場も市の会場等を使うのでほとんど費用はかからず、スタッフはほとんど無償ボランティアです。必要なお金については、スリーボンドさんを初めとするスポンサーの方に、東京八王子プロバスクラブの方々がかけあって持ってきていますので、参加者には実費をもらっているという関係で、恐らく1回目に来て2回目以降来なかった人にも、お金を返さないかわりに2回目以降に使う教材は渡しているはずですが、そういう形でやっているからこそ責任感を持って来てほしいし、また、そういう方々に対してお礼を言いたいと思っています。一生懸命民間の方々がやってくれているのに、その説明では言えていないですよ。思いはあるのだろうけれども、私がしているような説明ができないとだめですよ。ほとんどこれは教材費だけ、実費をもらっているのであって、そんなにお金もかからないけれども、記念品や何かについてはスリーボンドさんを中心とした、いわゆる寄附で賄っているんでしょう。

○興水委員　私が質問した意図も、かなりいろいろな力が結集した中で、支えていただいているんだらうなというのもありましたので、教育長もおっしゃいましたが、そこをきちんと検証するというか、そういうことが参加者の励みにも、また運営にかかわってくださっている方々の励みにもなると思いますので、ぜひ、さらに盛り上げるために御検討いただければと思います。

○小柳生涯学習スポーツ部長　八王子「宇宙の学校」は、今回で5回目を迎えましたが、これを今後ながらく継続するには、やはり運営のボランティアの方たちにいかに来てもらうかということが大事だと思っています。特に、今回メインスポンサーが株式会社スリーボンドということもありますが、東京八王子プロバスクラブの方々。これは、ロータリークラブを母体に、退職をされた方々が組織されているプロフェッショナル・ビジネスパーソンという意味の略語なのですが、そういった方々が子どもたちに科学を知ってもらおうということで、宇宙をテーマにした「宇宙の学校」を八王子で開催しようということで、当初1会場から始まり、今は3会場に増えています。場所によっては東京工科大学の学生にも手伝ってもらったり、八王子北高校の生物、物理学のクラブの生徒さんたちにも手伝ってもらっています。プロバスクラブの方々も高齢になる中で、なかなか次の世代ということの課題もあるのですが、そういった方々が八王子「宇宙の学校」後援会というのをつくられ、メインスポンサーのスリーボンドさん以外にもいろいろな企業を回り、そこで寄附金を

集めているということが事業費の大部分になっています。このように、プロバスクラブをはじめ、いろいろなボランティアの方々に成り立っているというところで、今後の継続性も少し課題になっております。また、応募者が多く、倍率が2.83倍ありましたので、会場も増やしたいと思っています。さらに、もっと内容も充実させたいと思っていますので、その辺も今後の課題ということで、検証しながら考えていきたいと思っています。

○村松委員　この参加費というのは、1回で2,000円ではなくて、すべてで2,000円ということですよ。

○牛山こども科学館長　4回で2,000円です。

○村松委員　それで、思ったのですが、1回目が7月5日、2回目が9月6日と、夏休みが外れてしまっているのはもったいないかなとも思うのですが、夏休みを外した理由というのはあるのですか。

○牛山こども科学館長　家庭学習の教材がJAXA宇宙教育センターから届いておりまして、家庭でできる教材が40種類くらい入っております。7月に1回目を開始してお渡しするので、それを夏休み期間中にぜひやってもらいたいという趣旨で、夏休み期間があいています。

○村松委員　それと、私も「輝く宇宙八王子展」に、2日目とあともう一回行かせていただきました。それで、東京八王子プロバスクラブの方とも御挨拶させていただいて、お話を聞いたのですが、3,944名の方に御来場いただいたということですが、プロバスクラブの方たちはどのくらいパンフレットを刷っていらっしゃるのですかと聞いたら、5,000枚刷ったとおっしゃっていたんです。ということは1,000枚近く配られていないというわけです。

それと、先ほどおっしゃったように、プロバスクラブの方は御高齢の方が多いので、たしか終わる時間が早いんですよ。「これは早いですね」というふうにお聞きしたら、「そうなんです。私たちは帰りが遅くなるとちょっと危ないので」というふうにおっしゃっていました。それは致し方ないのですが、たまたまお孫さんを連れてこられた御年配の方にも少しお話を聞いたところ、たしか相模原のほうの方だったのですが、本当は小学生のお孫さんを連れてきたかったけど、学校があって、終わる時間が早過ぎて来られないのだと。もうちょっと何とかならないのだろうかというようなお話も聞きました。場所も駅近くで、来ている皆さんを見ると、本当

ににこにこしながら御覧になっていましたので、東京八王子プロバスクラブさんがもちろん主体なのですが、それこそボランティアの方にもう少しいてもらうとか、時間を延長したり、日曜日少し早めたりということを、次回は考えていただければと思います。

○牛山こども科学館長　　実際開催してみて、確かに平日の5時というのは時間的に来られない時間だなというのをつくづく思ったところです。八王子南口総合事務所は夜7時まで開いていますので、意外に5時過ぎに人が来られることもわかり、惜しかったなと思っています。特に、子どもさんはやはり土日しか来られなかったというところで、時間帯についてはぜひ、またこういう機会がありましたら、平日も7時まで運営できるように考えていきたいと思っています。

○坂倉教育長　　村松委員が聞いたのは、プロバスクラブさんが高齢で早く帰らないと危ないということであれば、任せるのではなくて、市側としてどのようにやるのかと聞いたのであって、今のはあまり答弁になっていないです。要するに、向こうに言うだけなのですか。行政としてというか、牛山館長の立場でどう考えているかの答えになっていないですよ。

○牛山こども科学館長　　大変失礼いたしました。例えば5時過ぎには私ども職員が行って対応するとか、そういったところもきちんと考えて運営するべきでしたので、その点、気をつけて考えていきたいと思っています。

○坂倉教育長　　実際難しいかもしれないけれども、少し公費を出せるのだったら、ガードマンなどをつける方法もあるだろうし、いろいろあるだろうと思います。特別展は今度はないのだけれども、これも含めて、御意見を受けた後、次にまた変わっていないと、いつも委員さんに言われるように、役所はその場の答弁だけしたらいいのかというふうに思われるわけです。だから、そういう答弁はしてほしくないんです。そこが一つと、やはり村松委員も気にしたように、なぜ夏休みの期間が外れているのかというときに、最初から説明があってもよかったではないですか。家庭学習というのが中心で、スクーリングはあくまでもより高度なものを目指すのであって、家庭学習をさせたいのだと。そういう意味では、非常に多くの200枚近い家庭学習用の教材があって、その中でやっていくのですよというあたりを話していくと、様子が見えてくるので、次以降、ぜひ工夫してください。

最終日に発表があるのですが、私の感想としては、いい研究をしているのですけ

れども、発表の声が全体的に小さい。毎回子どもたちに、「いい機会なのだからもっと元気にやってね」と言っていて、1年生、2年生だから仕方がないところもあるのですが、そこでさらに私が「教室でお友達と話すときにそんなに小さな声なの」と言うのと笑うのですけれども、発表自体は、内容がいい割にいま一つ元気がないです。だから、そこをまた毎年言っていきたいと思っています。

ほかに御質疑、御意見ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○坂倉教育長 それでは、八王子「宇宙の学校」の実施結果については、以上にいたします。

ほかに何か、報告する事項等はございますでしょうか。

○廣瀬学校教育部長 保健給食課より報告がございます。

○坂倉教育長 保健給食課から御報告願います。

○野田保健給食課長 それでは、インフルエンザ様疾患による市立小中学校の臨時休業の発生状況につきまして、御報告をいたします。

報告は、担当の安藤主査から報告いたします。

○安藤保健給食課主査 それでは、市立小中学校におきましてインフルエンザ様疾患による臨時休業が発生いたしましたので、御報告いたします。

今シーズン、2015年から2016年で、本市での初発でございます。11月2日に高嶺小学校の5学年で38度の発熱、せき、頭痛の症状があり、1クラスで学級閉鎖をいたしました。休業期間は、11月3日が祝日ですので11月4日の1日のみとなります。インフルエンザ様疾患による臨時休業が発生した際は、その日のうちに、市のホームページ上の教育委員会からのお知らせに掲載いたします。また、各小中学校のホームページ上には教育委員会からのお知らせがあり、市のホームページとリンクしております。あわせてモバイルサイトへも掲載しており、いち早く保護者には情報の提供をしております。

なお、八王子市保健所の情報によりますと、高嶺小学校で罹患した児童の保護者の御協力により、保健所が検体を検査した結果はA香港型でございました。

参考までに、東京都内の公立学校での今季インフルエンザ様疾患による学級閉鎖についてですが、9月16日に調布市の小学校で発生したのが今季初発でございます。東京都のまとめによると、10月26日から11月1日の、今現在入手できる

最新の情報によりますと、東京都内の公立学校ではこれまで調布市、東村山市、東久留米市、多摩市、西東京市、瑞穂町で学級閉鎖の報告があるということでございます。

また、東京都の健康安全研究センターによりますと、この最新情報は、前の週に比べると患者数は微増しているという状況でございます。インフルエンザの例年のピークは1月後半から2月初めになり、年明けの1月から患者が急に増える状況が見られ、3月ごろには流行が終わり、4月から5月に落ちつくという状況が統計的に見られております。報告は以上になります。

○坂倉教育長　　ただいま、保健給食課からの報告が終わりました。

本件について御質疑はございませんでしょうか。

傾向の報告は今あったのだけれども、対策の報告というところが欠けているなど思ったので。例えば、子どもたちにはうがい・手洗い等の励行をやっているのだからけれども、保護者の方々や教職員にはインフルエンザの予防接種の励行なんかも、どこまでかわからないけれども多分あるのだと思います。

それと、今、A香港型と言っていたけれども、今年のワクチンは混合型なのかね。それで数が少ないといううわさがあって、結構早めなのだけれども、その辺も含めた報告にしてもらったほうがいいのではないかという気がします。今のは起きたという、ピークはこのくらいだということでは終わっているわけですね。保健給食課のできることは限られていると思うのだけれども、やはりそのあたりを少し入れてほしいなと思いました。

○野田保健給食課長　　すみません、今回は発生状況ということで御報告をさせていただいております。対策につきましては、厚生労働省はじめ東京都からの通知等、早くからインフルエンザにつきましては通知が出ておりますので、学校のほうに随時通知をさせていただいております。やはり、対策としましては、予防接種というのも一つありますが、うがい・手洗いをしていただくということが一番の予防ということで、集団感染の中ではやはりうがい・手洗いを徹底していただくように学校にはお願いしているところでございます。

ワクチンにつきましては、情報としてなかなか入ってきませんので、こちらから通知ということは少ないのですが、保健所等を通しての一般的な周知をしていただいているところだと思います。

学校の対策、おそらく保健だより等により学校では周知していただいていると思うのですが、やはり流行が始まった中で、罹患者が増えないような形で、周知のほうは徹底していきたいと思っております。

○坂倉教育長 教職員の方々に予防接種の励行といったことはしていないのかどうかというのが一つ。あと、先ほど安藤主査の報告の中で、「罹患した方の御協力を得て検体を」と言ったけれども、もちろん伝染病ではないからそうなのかもしれないけれども、一般的に御本人の了解がないと調べられないのかどうか、その2点を確認させてください。

○安藤保健給食課主査 今シーズンの流行が出るまで、保健所のほうから、発生した各小中学校の保護者に御協力を得て検体の検査結果を出しているということで、今回の高嶺小学校も6名罹患者がいたのですが、検体を検査したのは1件だけということですので。それで、流行のピークを見ていくということを行っているようです。

○坂倉教育長 教職員に対する通知みたいなものはしていないのですか。

○安藤保健給食課主査 保健給食課としては、教職員に対して特に通知等はしていないところです。

○坂倉教育長 保健所から一般的に出すのは、手洗い・うがいで、インフルエンザの予防接種みたいなものはあまり出してはいないのでしょうか。

○安藤保健給食課主査 出していないです。

○坂倉教育長 ほかに御質疑、御意見はございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○坂倉教育長 ないようであります。

それでは、ここで暫時休憩にいたします。

なお、休憩後は非公開となりますので、傍聴の方は御退室願いたいと思います。

再開は9時45分からといたします。

〔午前9時35分休憩〕